

平成19年度当初予算会計別一覧表

単位：千円

区 分	19年度予算額(A)	18年度予算額(B)	差引(A)-(B)	
一 般 会 計	24,343,171	24,654,848	△ 311,677	
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,511,399	4,657,644	853,755
	介護保険事業	4,003,347	3,848,067	155,280
	老人保健事業	6,111,313	5,960,234	151,079
	簡易水道事業	219,436	236,190	△ 16,754
	温泉配湯事業	9,350	6,988	2,362
	住宅資金貸付事業	95,299	116,922	△ 21,623
	高齢者・障害者住宅 整備資金貸付事業	4,272	5,219	△ 947
	土地取得事業	54,000	54,000	0
	上井羽合線沿道土地 区画整理事業	399,139	622,244	△ 223,105
	下水道事業	3,275,133	3,599,531	△ 324,398
	駐車場事業	33,492	33,600	△ 108
	集落排水事業	762,016	674,939	87,077
	高城財産区	5,240	3,201	2,039
	小鴨財産区	1,070	538	532
	北谷財産区	158	158	0
上北条財産区	29,529	30,594	△ 1,065	
小計	20,514,193	19,850,069	664,124	
合計	44,857,364	44,504,917	352,447	

平成 19 年度 予 算 主 な 事 業 一 覧 表

担当課	会計名	事業名	ページ
税務	一般会計（歳入）	市税	P1
財政	〃	地方特例交付金	P2
財政	〃	地方交付税	P3
財政	〃	基金繰入金	P4
総務	一般会計（歳出）	庁舎整備工事	P5
職員	〃	職員管理事業	P6
秘書	〃	広報事業	P7
情報	〃	NCN放映委託料	P8
環境	〃	広域連合負担金（新斎場整備費負担金）	P9
国保	〃	特別医療助成（単市 5歳～小学校就学前児童通院）	P10
人文	〃	アイヌ文化人権フェスティバル	P11
福祉	〃	児童手当給付事業	P12
福祉	〃	子育て支援事業	P13
健康	〃	マタニティマーク啓発事業（ステッカー）	P14
健康	〃	特定不妊治療費助成金	P15
農林	〃	全国和牛能力共進会対策	P16
農林	〃	養豚種豚導入事業	P17
商工	〃	倉吉レトロまちかど博物館散策マップ作成	P18
商工	〃	国民宿舎事業会計への繰出金	P19
商工	〃	琴桜観光駐車場整備事業	P20
農村	〃	農地・水・環境保全向上対策支援事業	P21
駅	〃	倉吉駅周辺まちづくり整備事業	P22
駅	〃	交通結節点改善事業	P23
建設	〃	一般道路新設改良事業（市道昭和町一丁目昭和町二丁目2号線）	P24
建設	〃	地方道路交付金事業（山根中央線）	P25
建設	〃	まちづくり交付金（アーケード撤去に伴う自然色舗装等）	P26
景観	〃	一般特定行政庁	P27
景観	〃	耐震改修促進計画策定業務	P28
景観	〃	まちづくり交付金（アーケード撤去）	P29
教育	〃	小鴨小学校屋内運動場改築事業	P30
学校	〃	教員加配（小学校）	P31
生涯	〃	地域交流センター建設事業	P32
文化	〃	町並み保存対策調査（伝統的建造物群保存地区保存事業）	P33
博物	〃	特別展 岩合光昭写真展	P34
簡水	簡易水道	山口水源地新設事業	P35
駅	上井羽合線	上井羽合線沿道土地区画整理事業	P36
下水	下水道	流域下水道維持管理負担金	P37
下水	集落排水	電算システム改修委託料・量水器設置等委託料・検針委託料	P38

担当課	税務課
-----	-----

事業名	市税
-----	----

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
1款	5,939,973	6,435,630					

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>個人市民税の収入増は、税源移譲（所得割額一律6%）、定率減税の廃止、老年者非課税措置の廃止に伴う経過措置による。</p> <p>1. 税源移譲による増収見込額 392,000千円 納税義務者数：約25,000人</p> <p>2. 定率減税の廃止による増収見込額 約78,300千円 所得割の納税義務者数：約21,500人</p> <p>3. 老年者非課税措置の廃止に伴う経過措置（1/3軽減から2/3軽減）による増 4,800千円の増 納税義務者数：1,700人</p>

担当課	財政課
-----	-----

事業名	地方特例交付金
-----	---------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
9 款	140,110	57,002					

事業の説明

<p>事業の概要 (手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等) 対象 (誰、何を対象にしているのか) 意図 (対象をどう変えるのか、何を狙っているのか)</p>
<p>H18年度は ○減税補てん特例交付金 (H11創設。恒久的な減税に伴う地方税の減収額を補てんするため交付) ○児童手当特例交付金 (H18創設。児童手当の制度拡充に伴う地方負担の増加に対応するため交付) の二つがあったが、減税補てん特例交付金は廃止された。経過措置としてH19年度からH21年度までの3年間、特別交付金が交付されることとなった。 一方、児童手当特例交付金は、H19年度における制度拡充に伴う地方負担の増加に対応するため、増額となる。</p>

担当課	財政課
-----	-----

事業名	地方交付税
-----	-------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10款	7,350,000	7,441,000					

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>○普通交付税</p> <p>●新型交付税の創設 算定方法の抜本的な簡素化を図り、交付税の予見可能性を高める観点から、人口と面積を基本とした簡素な新しい基準による基準財政需要額の算定を平成19年度から導入。算定項目の統合により項目数を3割削減。</p> <p>●地方財政対策 地方交付税 4.4%の減 H18年度決算額 6,985,247千円 $6,985,247千円 \times 0.956 = 6,677,896千円$</p> <p>○特別交付税 合併に伴う財政支援措置 H18年度 125,000千円 H19年度 83,000千円（対前年度△42,000千円） （参考 H20年度以降はなし）</p>

担当課	財政課
-----	-----

事業名	基金繰入金
-----	-------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
18款	556,641	961,322					

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>										
<p>○基金繰入金・・・基金は特定の目的のために設置されたものであり、その目的の達成のために必要な場合は一般の会計に繰入れることがある。</p> <p>主な基金繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ●財政調整基金繰入金・・・337,188千円（基金利子と同額1,988千円、国民宿舎事業会計への繰出金のうち元金償還に相当する額を除いた額と同額335,200千円） ●職員退職手当基金繰入金・・・217,472千円（退職手当と同額） ●減債基金・・・356,061千円（公債費の一部に充当） ●若者の定住化促進基金繰入金・・・6,039千円 <p>充当先事業一覧</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1. 妊婦一般健康診査の回数増</td> <td style="text-align: right;">3,013千円</td> </tr> <tr> <td>2. 特別医療扶助費（就学前児童）</td> <td style="text-align: right;">2,000千円</td> </tr> <tr> <td>3. ブックスタート</td> <td style="text-align: right;">700千円</td> </tr> <tr> <td>4. 誕生証印刷費</td> <td style="text-align: right;">226千円</td> </tr> <tr> <td>5. 子育て経費軽減応援事業</td> <td style="text-align: right;">100千円</td> </tr> </table>	1. 妊婦一般健康診査の回数増	3,013千円	2. 特別医療扶助費（就学前児童）	2,000千円	3. ブックスタート	700千円	4. 誕生証印刷費	226千円	5. 子育て経費軽減応援事業	100千円
1. 妊婦一般健康診査の回数増	3,013千円									
2. 特別医療扶助費（就学前児童）	2,000千円									
3. ブックスタート	700千円									
4. 誕生証印刷費	226千円									
5. 子育て経費軽減応援事業	100千円									

担当課	総務課
-----	-----

事業名	庁舎整備工事
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.6	4,095	187,000			177,600		9,400

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>																								
<p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保育園調理室への空調機設置、屋根の葺き替え ② 教育施設の空調機等の改修 ③ 庁舎関係：自家発電装置の設置、空調設備・給水設備・消火設備改修、防火・防災設備等の設置、その他改修 <p>2 対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市立保育園 ② 教育施設（公民館、博物館） ③ 市役所庁舎 <p>3 意図</p> <p>市町村合併に伴い、同種の施設間における設備面での格差解消を図るとともに、既存の市庁舎を改修することにより新市の庁舎としての機能強化を図り、今後において長く使用できるよう整備を行う。</p>																								
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p style="text-align: right;">単位：千円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>本工事費</th> <th>設計監理料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育園</td> <td>16,257</td> <td>2,185</td> <td>18,442</td> </tr> <tr> <td>公民館</td> <td>2,272</td> <td>415</td> <td>2,687</td> </tr> <tr> <td>博物館</td> <td>5,405</td> <td>0</td> <td>5,405</td> </tr> <tr> <td>市役所庁舎</td> <td>145,440</td> <td>15,026</td> <td>160,466</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>169,374</td> <td>17,626</td> <td>187,000</td> </tr> </tbody> </table>	項目	本工事費	設計監理料	計	保育園	16,257	2,185	18,442	公民館	2,272	415	2,687	博物館	5,405	0	5,405	市役所庁舎	145,440	15,026	160,466	計	169,374	17,626	187,000
項目	本工事費	設計監理料	計																					
保育園	16,257	2,185	18,442																					
公民館	2,272	415	2,687																					
博物館	5,405	0	5,405																					
市役所庁舎	145,440	15,026	160,466																					
計	169,374	17,626	187,000																					
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>																								
<p>合併特例債 事業費の95% 187,000千円×95%=177,600千円</p>																								

担当課	職員課
-----	-----

事業名	職員管理事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.1	0	2,339					2,339

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
事業概要 障害のある方を市役所の臨時的任用職員として採用する。 採用人数：2人 業務内容：遺跡の発掘資料の洗浄、図書館での図書の整理 等	
対 象 市内に在住されている知的障害のある若者 等	
意 図 障害のある方の自立を支援するとともに、民間企業や地域への啓発の場として機能することにより、障害のある方の就労の促進と社会参加を支援する。	
共済費 賃 金	（健康保険料等） 275千円 （事務賃金） 2,064千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
（空欄）	

担当課	秘書広報課
-----	-------

事業名	広報事業
-----	------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.3	21,707	17,955		1,790		2,783	13,382

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）いろいろな媒体を活用しての広報活動 ○市報くらし発行業務 （21回 4月～12月まで月2回、H20年からは月1回 発行部数21,000部） 編集システム借上（DTP）、市報印刷製本費 市報・県政だより及び各種文書発送業務 点字市報作製委託業務 ○記者クラブへの情報提供 記者会見（毎月1回、議会前記者会見等）、FAX借上 ○市ホームページ運用 サーバー借上、※ホームページ広告バナー設置手数料 ○※携帯メール配信システム構築（システム借上） ※は19年度新規 （対象）全市民、市内事業所 （意図）広報誌「市報くらし」や定例記者会見・情報提供に加え、NCN 2ch・地上デジタル放送・希望者へのメール配信など広報媒体の多様化を図り、市民への広報（情報提供）の充実を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p><市報発行> 印刷費 30,975円×((4月～12月)18回×16頁+(H20 1月以降)3回×20頁) =10,780千円 発送業務 101,348円×21回=2,129千円 <携帯メール配信システム構築> 初期費用、全庁利用システム開発、月額費用等 872千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>県政だより配布事務費委託金 1,790千円</p>

担当課	情報政策課
-----	-------

事業名	N C N放映委託料
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	1,789					1,789

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）
 対象（誰、何を対象にしているのか）
 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

【概要】新たに設けられた中部専用チャンネル（2チャンネル）を活用して、平常時にはL字放送（文字情報）システムで市民生活に必要な行政情報、地域情報等の提供を行う。

[L字放送（文字情報）システム]

市役所からのお知らせや、地域情報、防災、天気、イベント、ニュースなどの様々な情報をリアルタイムに画面表示します。

- ・テレビのチャンネルとして視聴できるので、高齢者にも簡単に情報の伝達ができます。
- ・一つの画面上に情報が集約されているので、様々な情報を確認をすることができます。
- ・緊急時には、災害情報を優先的に表示することができます。

[放送枠]

- ・L字放送・・・30分の番組（倉吉市25分、三朝町5分）を6時間おきに毎日4回放送。
- ・災害などの緊急時には優先的に放送。

【対象】市民

歳出積算根拠（金額）

年間放映料4,292,400円の1/2をN C Nが負担、残り2,146,200円を倉吉市と三朝町とで、30分番組の放送時間の割合で負担する。
 倉吉市25分（25/30）、三朝町5分（5/30）。

【負担割合】

・N C N	2,146,200円		
・倉吉市・三朝町	2,146,200円	----->	〔 倉吉市 1,788,500円（25/30） 三朝町 357,700円（5/30）
計	4,292,400円	(内訳)	

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

担当課	環境課
-----	-----

事業名	広域連合負担金（新斎場整備費負担金）
-----	--------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4.1.4	0	32,387			26,200		6,187

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 平成22年稼働を目指した新斎場建設に伴う建設費の負担 事業費の年度別内訳 H19 設計業務など 57,868千円 H20 建築工事など 938,755千円 H21 解体撤去工事など 28,119千円 合計 1,024,742千円</p> <p>対象（誰、何を対象にしているのか） 1市3町の住民</p> <p>意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか） 老朽化した現斎場を最新鋭の施設設備にする</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>新斎場建設費 人口割 80%（用地費、建設工事費、公債費の償還金及びその他建設に要する経費と認めるもの） 実績割 20%（前年の利用実績による負担割合）</p> <p>58,363千円（57,868千円＋事務費）×55.4927%=32,387千円 （湯梨浜町18.7887%、三朝町8.4235%、北栄町17.2951%）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併特例事業債 32,387千円×(49,342千円(起債対象経費)÷57,868千円)×95%=26,200千円</p>

担当課	国民健康保険課
-----	---------

事業名	特別医療助成（単市 5歳～小学校就学前児童通院）
-----	--------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.6	0	11,942				2,000	9,942

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>「第10次倉吉市総合計画」の重点課題である「若者の定住化促進」に関連する取り組みとしての「子育て支援の充実」を実現するため、現在、特別医療費助成の対象となっていない5歳から小学校就学前児童の通院に係る医療費の助成を平成19年度から単市事業として行うことにより、子育ての経済的負担の軽減を図り、もって安心して子どもを育てられる環境を整備する。 通院により医療機関に支払う医療費から、同一の月に同一医療機関に4回まで支払う一部負担金相当額（1回当たり530円）を除いた額を、申請により償還払いする。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>現在、県との共同事業として実施している特別医療費助成事業のうち、3歳から5歳（2歳分）までの助成金額の平成18年度決算見込額 24,573,692円を基に、5歳から小学校就学前までの助成対象者（平均1歳6ヶ月分）が、3歳から5歳より受診率が低いことを勘案し、1/2の助成金額と積算 $24,573,692円 \times 1/2 = 12,286,846円$ この金額から3歳から5歳までの入院に係る助成金額 344,763円を除き $12,286,864円 - 344,763円 = 11,942,083円$とした。</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>若者の定住化促進基金繰入金 2,000千円</p>

担当課	人権文化センター
-----	----------

事業名	アイヌ文化人権フェスティバル
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.8	0	1,696	1,684				12

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
--

<p>【事業の概要】 開催時期：平成19年7月7日（土） 開催場所：倉吉未来中心小ホール及びリハーサル室 内 容： アイヌのビデオ鑑賞・講演・アイヌ古式舞踊公演・アイヌ文化と人権関係の パネル展示・アイヌ文化を体験するワークショップ（リハーサル室）を行う。</p> <p>【対象】 市民 【意図】 「倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画」に位置づけられている人権分野 のひとつである「先住民族の権利回復の実現」を目指す取り組みとして「アイ ヌ文化人権フェスティバル」を開催し、市民の広範な人権問題に関する知識と 意識の高揚を図る。 また、あわせて「人権の花」運動により、指定校である河北小学校・小鴨小 学校の2校に花の苗等を配布し、花づくりによる子どもたちの人権意識の高揚 を図る。</p>

歳出積算根拠（金額）

報償費 230千円 ……アイヌ古式舞踊団謝金等 旅 費 877千円 ……アイヌ古式舞踊団旅費等 需用費 372千円 ……アイヌ文化ワークショップ消耗品費、 フェスティバルチラシパンフレット印刷費等 役務費 40千円 ……アイヌ文化関係パネル展 使用料及び賃借料 177千円 ……会場費、 アイヌ古式舞踊団送迎バス借上げ料等 （うち「人権の花運動」にかかる経費） 需用費 197千円 ……花代等

歳入積算根拠（特定財源）
 補助対象経費、補助率など

人権啓発活動費委託金（県委託金）	1,684千円
------------------	---------

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	児童手当給付事業
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.2.1	305,726	386,182	176,385	104,492			105,305

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）																									
子育てにかかる費用の一部を児童手当として支給することにより、児童を養育する者の生活を安定させ、児童が健全に育成されるよう支援することを目的としている。 平成19年4月1日から児童手当法が一部改正され、3歳未満の第1子・2子は月額5千円から1万円に引き上げとなり、第3子以降は、これまでと同じ月額1万円が支給される。また、3歳以上の児童については、これまでと同様に、第1子・2子は月額5千円、第3子以降は1万円が支給される。																									
歳出積算根拠（金額） ※扶助費のみ																									
児童手当 第1子・2子 月額10,000円×延児童数11,188人＝111,880,000円 第3子以降 月額10,000円×延児童数 2,079人＝ 20,790,000円 特例給付 第1子・2子 月額10,000円×延児童数 87人＝ 870,000円 第3子以降 月額10,000円×延児童数 12人＝ 120,000円 小学校修了前 第1子・2子 月額 5,000円×延児童数37,058人＝185,290,000円 第3子以降 月額10,000円×延児童数 6,642人＝ 66,420,000円	合計 385,370,000円																								
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被用者児童手当</td> <td>8/10</td> <td>1/10</td> <td>1/10</td> </tr> <tr> <td>非被用者児童手当</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>10/10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被用者小学校修了前</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>非被用者小学校修了前</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	国	県	市	被用者児童手当	8/10	1/10	1/10	非被用者児童手当	1/3	1/3	1/3	特例給付	10/10			被用者小学校修了前	1/3	1/3	1/3	非被用者小学校修了前	1/3	1/3	1/3	
区 分	国	県	市																						
被用者児童手当	8/10	1/10	1/10																						
非被用者児童手当	1/3	1/3	1/3																						
特例給付	10/10																								
被用者小学校修了前	1/3	1/3	1/3																						
非被用者小学校修了前	1/3	1/3	1/3																						

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	子育て支援事業
-----	---------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.2.1	0	5,880		3,920		12	1,948

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
事業概要 平成18年度末をもって廃園する市立上灘保育園の施設を利用して、常設型の子育て支援センターを設置し、子育て中の保護者が子どもと一緒に集い、子どもを遊ばせながら気軽に交流できる場を提供するとともに、子育て家庭に対する育児不安などについての相談支援、地域の保育資源の情報提供、子育てサークル等の育成及び支援等を行う。	
対 象	市内に在住されている小学校就学前児童及びその保護者 子育て支援の活動をしている団体及び個人
意 図	育児不安の軽減とよりよい親子関係の確立
歳出積算根拠（金額）	
共済費（臨時保育士の健康保険料等） 賃 金（臨時保育士の事務賃金等） 報償費（育児・創作活動等講師謝金） 旅 費（先進地視察・研修旅費等） 需用費（センターの消耗品及び光熱水費・修繕費等） 役務費（センターの電話料金及びコピー機保守点検等） 使用料及び賃借料（講演会等会場借上） 原材料費（工事材料費） 備品購入費（センターの備品購入費）	262千円 1,969千円 502千円 416千円 1,917千円 699千円 45千円 50千円 20千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
保育対策等促進事業費補助金（県補助金） 3,920千円 5,880千円 × 2/3（国1/3・県1/3）	

担当課	健康支援課
-----	-------

事業名	マタニティマーク啓発事業（ステッカー）
-----	---------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4.1.1	0	100					100

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>マタニティマークとは ・妊産婦が移動・買い物等日常生活時に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示し易くするもの （目的） 妊娠中、特に初期のお母さんは、妊婦であるか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあるので、妊婦の住んでいる倉吉市でこのマタニティマークのステッカーを作成し妊産婦に配布して、妊産婦への思いやりのある気づかいを市民に啓発し、妊産婦に対してやさしい社会環境づくりを通して少子化対策に寄与するもの （対象者及び配布方法） ・妊産婦に母子健康手帳交付時にステッカーを配布し、車等に貼付してもらう。 （市民への啓発方法） ・健康ガイドへ啓発記事を掲載し、各戸配布する。 ・ホームページ・市報・館報等で広報する ・厚生労働省のポスターを交通機関・商店等に配布し、掲示してもらう。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>（ステッカー） 125円×800枚＝100,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	健康支援課
-----	-------

事業名	特定不妊治療費助成金
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4.1.1	0	1,500					1,500

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（目的） 子どもが出来ない夫婦が不妊治療を受けている場合において、当該夫婦に対し、その不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）に要する経費の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図る。</p> <p>（対象者） 戸籍法による夫婦で、医師が特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか極めて少ないと判断された者。倉吉市に1年以上居住している者で、医療保険に加入している市税等未納のない者</p> <p>（助成対象となる治療） 体外受精及び顕微授精</p> <p>（助成金の額） 当該年度の特定不妊治療に要した本人負担額で年額10万円を限度とする。</p> <p>（助成金の交付方法） 所定の用紙に必要書類を添付した交付申請を受理し、審査の後決定する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>10万円×15件＝150万円</p> <p>鳥取県の過去の助成実績により積算 平成16年度 8件 平成17年度 17件 平成18年度（10月末） 7件</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	全国和牛能力共進会対策
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.6	682	3,549					3,549

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）
 対象（誰、何を対象にしているのか）
 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

平成19年10月11日から14日にかけて、鳥取県米子市を中心として開催される全国和牛能力共進会に向けた取り組みに対して支援を行い、本大会を契機として、将来にわたる肉用牛振興施策を展開することにより、鳥取和牛の発展につなげる。
 出品報償金、PR資材の作成、調教訓練、候補牛保留対策、飼育管理などの支援を行う。

歳出積算根拠（金額）

- 出品報償金 850,000円
 17頭×100,000/頭×1/2=850,000円
- PR資材の作成 408,000円
 *PR用懸垂幕、のぼり旗経費
- 調教訓練等経費 1,543,605円（負担割合 市1/3 JA1/3 農家1/3）
 *資材購入 ブラッシングブラシ(猪)、調教用の追い綱、ハナグリ 356,500円
 *ひき運動、調教、ブラッシングに係る管理 1,187,105円
- 候補牛保留対策 746,650円（負担割合 市1/3 JA1/3 農家1/3）
 *飼育管理に必要な野乾草（草刈をして乾燥させたえさ）の調達 639,105円
 *つめきり等と蹄の管理 107,545円

歳入積算根拠(特定財源)
 補助対象経費、補助率など

担当課	農林課
-----	-----

事業名	養豚種豚導入事業
-----	----------

単位：千円

予算科目	金額		財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.6	0	200					200

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>平成18年度より国の補助事業による種豚導入助成事業の対象が優良種豚のみに限定され、一代雑種（LW種等）、合成豚（ハイポー等）が外され養豚農家の種豚導入が困難な状況になっている。このことにより、更新時期の遅れによる出産率の低下によって経営の低迷や、これまでに作り上げてきた銘柄豚としての販売も困難な状況が予測される。</p> <p>これまでの種豚導入事業による繁殖成績や産肉成績の成果をふまえ、制度にのれない農家を3年間という期間を限定し、種豚を導入し、種豚の更新を行うことによって、規格統一、出生率の維持向上を図り、経営の安定を目指す。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>○種豚導入に伴う助成 1頭あたり20,000円 ○対象品種 純粋種（L種・D種）・・・国の補助対象からはずされた豚 一代雑種（LW種）、合成豚（ハイポー種） ○導入計画 10頭 市補助金 10頭 × 20,000円 = 200,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	倉吉レトロまちかど博物館散策マップ作成
-----	---------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	0	200					200

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）魚町から西町にかけての商店において、「明治・大正・昭和の時代を偲ばせるもの、珍しい物、懐かしい物」をショーウインドや店先に展示し「まち全体を博物館」に見立てて「倉吉レトロまちかど博物館」として全国に発信していく。その散策マップを作成する。</p> <p>（対象）白壁土蔵群・赤瓦周辺の商店</p> <p>（意図）白壁土蔵群・赤瓦周辺地域が持つ特性「江戸から昭和までの各時代の個性が混在する＝倉吉レトロ」を観光資源として、今に残るありのままの地域資源から観光的な魅力を引き出し、観光エリアの拡大と周辺全体の賑わい創出を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>5円×40,000部</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源）</p> <p>なし</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	国民宿舎事業会計への繰出金
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	51,899	388,751					388,751

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>（概要）国民宿舎グリーンスコールせきがねの新館建設事業費として借り入れた企業債の償還金及び資金不足を補うために借り入れた一時借入金との合計額を繰出するもの。</p> <p>（対象）倉吉市国民宿舎事業会計</p> <p>（意図）国民宿舎事業会計に企業債償還金（元金分）と一時借入金との合計額と同額の資金を繰出し、財政的基礎の健全化を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>○企業債償還金（元金分） H9.2.20借入分 42,064千円 H8.3.25借入分 6,279千円 S63.4.11借入分 5,208千円 計 53,551千円</p> <p>○一時借入金返還金 335,200千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	琴桜観光駐車場整備事業
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額 左の財源内訳						
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3		110,000	43,780		49,600		16,620

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
概要：既存の観光駐車場を含む一画地約1,200㎡を購入し、観光バス専用駐車場（バス回転広場）として、大型バス約8台分の駐車スペースを整備する。 対象：白壁土蔵群、赤瓦周辺を訪れる観光バス 意図：恒常化している観光バスの路上駐車を解消し、便利で安全に観光客が乗降できるようにする。	
歳出積算根拠（金額）	
共済費	111千円（臨時職員社会保険料）
賃金	840千円（臨時職員賃金）
旅費	149千円（用地交渉、登記手続等出張旅費）
需用費	540千円（事務用品等、写真現像・プリント代ほか）
役務費	1,360千円（書類郵送代、登記書類等作成手数料）
委託料	2,000千円（整備工事設計委託料）
工事請負費	30,000千円（整備工事費）
公有財産購入費	75,000千円（整備用地購入費）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
補助対象経費：110,000千円 補助率：39.8% まちづくり交付金（国庫補助金） 43,780千円 まちづくり交付金事業債 49,600千円	

担当課	農村整備課
-----	-------

事業名	農地・水・環境保全向上対策支援事業
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.1.7	0	10,136		278			9,858

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
農村地域において、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、 ①農地・農業用水の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動 ②農業者ぐるみでの環境保全に向けた先進的な営農活動 ③これからの活動の質をさらにステップアップさせるための取組みをともに協定に位置付け、多様な主体の参画を得てこれらを総合的・一体的に実施する活動を支援する。 本対策の実施期間は、平成19年度から23年度までの5ヶ年間
歳出積算根拠（金額） 共同活動（田）86,100 [㍴] × 440 [㍴] / [㍴] = 37,884,000 [㍴] （畑）4,100 [㍴] × 280 [㍴] / [㍴] = 1,148,000 [㍴] 営農活動 2地区 200,000 [㍴] / 地区 × 2地区 = 400,000 [㍴] 合計 39,432,000 [㍴] 倉吉市の負担割合 25% 9,858,000 [㍴] （活動費の負担割合 国50%、県25%、市25%） 推進検証事業（基本、地区数割、面積割） 278,000 [㍴] 合計 10,136,000 [㍴]
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
県補助金（推進検証事業） 278,000 [㍴] × 10/10 = 278,000 [㍴]

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	倉吉駅周辺まちづくり整備事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	66,355	360,245	144,000		201,400		14,845

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
--

県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を図るため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成17年度にはその構想により、「駅周辺交通バリアフリー基本構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。

交通結節点改善事業（自由通路・駅橋上化・北口駅前広場整備）に併せ、「賑わいの創出」、「拠点駅としての整備」、「バリアフリー化」を図るため、地域センター・エスカレーター・南口駅前広場の整備を行う。

歳出積算根拠（金額）

用地調査業務	9,200千円
地域交流センター詳細設計業務	28,600千円
地域交流センター用地購入費	40,000千円
駅舎等移転補償費	270,000千円
事務費	12,445千円
計	360,245千円

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

国庫補助金（まちづくり交付金事業）

補助対象額360,000千円×0.4=144,000千円

合併特例事業債

起債対象額212,000千円×95%≒201,400千円

今後の事業計画

単位：千円

財源内訳	H19	H20	H21	H22
まちづくり交付金	144,000	118,520	72,400	55,200
合併特例事業債	201,400	166,700	100,800	77,100
一般財源	14,845	11,080	7,800	5,700
事業費合計	360,245	296,300	181,000	138,000

H19は当初予算、H20以降は計画

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	交通結節点改善事業
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	70,000	290,000	145,000		137,700		7,300

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
--

県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を図るため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成17年度にはその構想により「倉吉駅周辺交通バリアフリー構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。
 交通結節点の重要拠点であるJR倉吉駅において円滑な乗り継ぎや乗換えを確保するために駅の橋上化や自由通路、北口駅前広場の整備を行う。

歳出積算根拠（金額）

自由通路用地購入	15,200千円
駅舎等移転補償費 一式	263,000千円
事務費	11,800千円
計	290,000千円

歳入積算根拠（特定財源）
 補助対象経費、補助率など

国庫補助金（交通結節点改善事業補助金）
 補助対象額290,000千円×1/2=145,000千円
 合併特例事業債
 起債対象額145,000千円×95%≒137,700千円

今後の事業計画

単位：千円

財源内訳	H19	H20	H21	H22
交通結節点改善事業補助金	145,000	110,000	164,000	80,000
合併特例事業債	137,700	104,500	155,800	76,000
一般財源	7,300	5,500	8,200	4,000
事業費合計	290,000	220,000	328,000	160,000

H19は当初予算、H20以降は計画

担当課	建設課
-----	-----

事業名	一般道路新設改良事業（市道昭和町一丁目昭和町二丁目2号線）
-----	-------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	10,280					10,280

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>										
<p>（概要） 本路線は、県道倉吉福本線から交流プラザに通ずる道であり、宮川町一丁目3号線（ロータリー付近）からの進入が制限されているため、交流プラザへの最も近い経路として交通量も多い状況である。しかし、現況は幅員W=6.0mの区間が5.5m、幅員W=3.5mの区間が6.5mと変則的な道路となっており、狭小区間については車両同士のすれ違いができない状況にある。また、本線隣接地に金融機関がオープンする予定（10月）であり、今後において通行車両、歩行者等の道路利用者の増加も予想される。</p> <p>（対象）市道利用者（歩行者、自動車運転者、自転車利用者等）</p> <p>（意図）市道を安心して通行出来るよう道路拡幅を図る。</p>										
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="1"> <tr> <td>工事費</td> <td>5,540千円</td> </tr> <tr> <td>測量設計費</td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>2,080千円</td> </tr> <tr> <td>補償費</td> <td>2,060千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,280千円</td> </tr> </table>	工事費	5,540千円	測量設計費	600千円	公有財産購入費	2,080千円	補償費	2,060千円	合計	10,280千円
工事費	5,540千円									
測量設計費	600千円									
公有財産購入費	2,080千円									
補償費	2,060千円									
合計	10,280千円									
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>										
<p> </p>										

担当課	建設課
-----	-----

事業名	地方道路交付金事業(山根中央線)
-----	------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3		50,000					50,000

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
(概要)本線は、上井地内の国道179号線を起点とし、西郷地区の1級市道大原山根線に至る道路である。本路線は倉吉駅に近く、倉吉駅周辺整備で立案した倉吉市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区にあり準特定経路に指定されている。また、沿線には県立倉吉体育文化会館や大規模商業施設があり、倉吉駅とこれらの施設を結ぶ経路にもなっている。大規模商業施設の利用が多く、車両混雑が起きており、加えて歩道が未整備となっているため歩行者の通行に支障をきたしている。 (対象)市道利用者（歩行者、自動車運転者、自転車利用者等） (意図)右折レーンの設置と歩道の整備を行い、道路利用者の安全快適な移動を図る。	
歳出積算根拠（金額）	
測量設計費	9,500千円
用地費	13,000千円
物件移転費	3,000千円
工事費	21,800千円(L=560m)
事務費	2,700千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
地方道路整備臨時交付金(一般財源)	50,000千円×5.5/10=27,500千円

担当課	建設課
-----	-----

事業名	まちづくり交付金（アーケード撤去に伴う自然色舗装等）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	15,000	5,970		6,700		2,330

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要）打吹地区において歴史的建造物の保存、修繕が実施されているがそれにあわせてアーケードの撤去後歴史的景観にあった側溝・舗装・照明の整備を図る。 （対象）打吹地区の景観（市道） （意図）側溝の美装化、自然色舗装の実施、夜の来訪者の安全を確保するための照明施設の設置をすることにより歴史的建造物にあった景観を保全する。	
歳出積算根拠（金額）	
測量設計費	2,600千円
物件移転費	600千円
工事費	10,850千円
事務費	950千円
計	15,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
まちづくり交付金(国庫補助金)	$15,000千円 \times 39.8/100 = 5,970千円$
まちづくり交付金事業債	$(15,000千円 - 5,970千円) \times 0.75 = 6,700千円$

担当課	景観まちづくり課
-----	----------

事業名	一般特定行政庁
-----	---------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2		1,926				1,530	396

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>概要 平成19年度より本市が限定特定行政庁から一般特定行政庁へ移行することに伴い、現在、県が行っている木造500㎡超、鉄骨造又は鉄筋コンクリート造で200㎡超の建築物及び一定規模以上の工作物の建築確認事務、さらに用途地域内での建築物規制の緩和、建ぺい率や容積率の緩和措置に関する許可等、今まで県が行ってきた建築確認、許可、規制やその緩和等の権限が委譲される。</p> <p>意図 権限委譲に伴い建築行政が統括的に行えることから、より一層の倉吉らしいまちづくりが推進される。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>建築審査会委員報酬 2,000円×5人×3回=30,000円 中国ブロック建築審査会長会議出席に伴う旅費及び報酬 5,000円 建築確認支援システム保守料 58,200円×12月≒699,000円 建築確認支援システム用機械借上料 68,200円×12月≒819,000円 保管庫 313,000円 中国ブロック建築審査会長会議参加者負担金 10,000円 全国建築審査会協議会負担金 50,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>建築確認申請手数料 1,530千円</p>

担当課	景観まちづくり課
-----	----------

事業名	耐震改修促進計画策定業務
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2		6,040	3,020				3,020

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
概要 倉吉市耐震改修促進計画の策定 対象 住宅及び建築物の所有者及び使用者 意図 平成18年度に作成する地震ハザードマップに併せて、倉吉市耐震改修促進計画を策定することにより、建築物の耐震化を総合的・計画的に推進する。これは建築物の耐震診断及び耐震改修の促進に関する基本的な施策の方向性やその実施目標等について、本市が基本的方針を耐震改修促進計画に示すことにより、市民と行政が一体となって当該方針に沿った施策の推進の努力義務を明確化するものである。
歳出積算根拠（金額） 倉吉市耐震改修促進計画策定委託料 6,040,000円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
震災に強いまちづくり促進事業費補助金(国庫補助金) 6,040,000円×1/2=3,020,000円

担当課	景観まちづくり課
-----	----------

事業名	まちづくり交付金（アーケード撤去）
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3		15,000	5,970			2,400	6,630

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
西町、西仲町、東仲町の老朽化し危なくなったアーケードを撤去することにより、市民の安全な歩行空間の確保を行う。 アーケード撤去後に、今まで整備困難であった地区住民の生活基盤（上下水道・側溝整備等）の整備を行い、街なみ環境整備事業等により修景を実施し、歴史的景観を活かしたまちづくりを進める。	
歳出積算根拠（金額）	
委託費、工事費、補償費の積み上げによる アーケード撤去設計委託料 600千円（委託） アーケード撤去費 12,000千円（工事） アーケード撤去に伴う家屋修繕費 1,000千円（工事） 電柱及び道路照明等の補償費 500千円（補償）	
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
まちづくり交付金(国庫補助金)	15,000千円×39.8/100=5,970千円
地元負担金	2,400千円

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	小鴨小学校屋内運動場改築事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.3	14,497	270,967	55,206		202,500		13,261

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
（概要）小鴨小学校の屋内運動場は、昭和44年に建設されたものであるが、耐力度調査の結果、危険建物となっていることから現在のグラウンドに改築を行う。 （平成18年度実施設計済み） 屋内運動場を改築することにより、良好な教育環境を創り、児童が安全安心な学校生活を送ることができる。また、地域のスポーツ活動の場として充実した施設を提供することができる。 屋内運動場 鉄筋コンクリート造一部木造平屋建 延床面積 1,133㎡ ※地元産杉丸太材を活用したスケルトンログ構法による建築		
歳出積算根拠（金額）		
屋内運動場改築工事 既設屋内運動場解体工事 改築工事監理委託料 解体工事設計監理委託料 備品整備及び事務費等 計	249,372 千円(杉丸太材含む) 10,185 千円 6,736 千円 1,639 千円 3,035 千円 270,967 千円	
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
国庫支出金 公立学校施設整備事業費負担金 増築部分(183㎡)負担率 1/2 安全・安心な学校づくり交付金 危険改築部分(736㎡)交付率 1/3 計 地方債 合併特例事業債 充当率95%		14,996 千円 40,210 千円 55,206 千円 202,500 千円

担当課	学校教育課
-----	-------

事業名	教員加配（小学校）
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.1	14,050	25,228					25,228

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）県と市町村の2分の1協力金方式による小学校1，2年生の30人学級の教員加配については継続配置する。全額協力金方式による複式学級解消加配教員については、対象学級数が4学級となったことから、1学級は全額協力金方式とし、残る3学級については市独自で臨時的任用教員を配置するものとする。</p> <p>（対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1・2年生30人学級該当児童 7学級 ・複式学級解消 北谷小学校 市による臨時的任用教員を1名配置 灘手小学校 全額協力金方式による複式学級解消加配教員を1名と市による臨時的任用教員を1名配置 山守小学校 市による臨時的任用教員を1名配置 <p>（意図）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の入門期である1，2年生の1学級あたり児童数を30人以下とし、きめ細やかな指導を実施することで、児童が安定した学校生活をおくることのできるようにするため教員を加配する。 ・複式学級を編成しなければならない状況において、学年毎の教育課程の実施を可能とするために複式学級解消教員を、必要に応じて学年毎の教育活動の実施を可能とするために臨時的任用教員を配置する。
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>（1）少人数学級加配教員配置にかかる負担額（年間） 2,000千円/人（定額） ※新規採用教員人件費4,700千円の約1/2が算定基準 配置市町村が協力金を県に提供</p> <p>（2）複式解消加配教員配置にかかる負担額（年間） ※新規採用教員人件費4,700千円/人が算定基準 配置市町村が協力金を県に提供</p> <p>（3）市による臨時的任用教員の配置にかかる負担額（年間） ※賃金 159,300円×3人×12月=5,734,800円 社会保険料 5,734,800×（132.76+5.5）÷1,000=792,893円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	生涯学習課
-----	-------

事業名	地域交流センター建設事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.4	0	65,930	29,655		29,600		6,675

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要） 上灘中央交流促進事業で19年度着工予定の地域交流センター（860㎡）建設に伴う実施設計委託料及び建設工事費の4割を予算計上するものです。 建設概要—大会議室、調理室、視聴覚室、研修図書室、和室、事務室、その他ふれあいコーナー、男女トイレ・多目的トイレ、倉庫等 （対象）主に上灘地区住民 （意図）生涯学習の場を提供し、各種学習を行なう拠点として活用する。
歳出積算根拠（金額） 地域交流センター（860㎡） 実施設計委託料 4,300千円 建設工事費 61,600千円（総工事費154,000千円の前払金相当額4割）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
地域住宅交付金（国庫補助金） $(61,600 + 4,300) \times \text{補助率}45\% = 29,655$ 千円 公営住宅建設事業債 $(61,600 + 4,300) \times 45\% = 29,600$ 千円

担当課	文化財課
-----	------

事業名	町並み保存対策調査（伝統的建造物群保存地区保存事業）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.3	0	2,600	1,300	260			1,040

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
平成10年12月25日に重要伝統的建造物群保存地区に選定された「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区」の西側に広がる町並みは、天保14年（1843）に建てられた高田酒造の建物をはじめ数多くの歴史的建造物が遺存する歴史的町並み景観が存在し、昭和40年代からは倉吉の中心的な商店街としていきづいてきた。 今後の歴史的建造物を残した町づくりの方向性を考える上で昭和54年に実施した町並み保存対策調査の見直しを平成19年度・20年度の2ヵ年計画で実施するもの。	
調査範囲	東仲町の一部・西仲町・西町・新町1丁目の一部、新町2丁目 新町3丁目及び河原町までの通り筋
歳出積算根拠（金額）	
町並み保存対策調査 調査委託料	2,600,000円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫補助金	$2,600,000円 \times 1/2 = 1,300,000円$
県補助金	$2,600,000円 \times 1/2 \times 1/5 = 260,000円$

担当課	倉吉博物館
-----	-------

事業名	特別展 岩合光昭写真展
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.6	0	4,617				4,617	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>										
<p>（概要）写真部門の特別展。NHKの特別番組で知られる動物写真家、岩合光昭の作品を展示する。写真と自然科学が一体となった事業。新日本海新聞社との共催。開催時期：7/28～9/2 場所：倉吉博物館展示室1～4。</p> <p>（対象）夏休み中の特別展なので、多くの家族連れで見たい。</p> <p>（意図）自然保護の大切さを伝える。</p>										
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賃 金</td> <td style="text-align: right;">960</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">消耗品費</td> <td style="text-align: right;">20</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">印刷製本費</td> <td style="text-align: right;">67</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">展示作業委託料</td> <td style="text-align: right;">3,570</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">合計</td> <td style="text-align: right;">4,617</td> </tr> </table>	賃 金	960	消耗品費	20	印刷製本費	67	展示作業委託料	3,570	合計	4,617
賃 金	960									
消耗品費	20									
印刷製本費	67									
展示作業委託料	3,570									
合計	4,617									
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>										
<p>特別展「岩合光昭写真展」入館料 4,617</p>										

担当課	簡易水道課
-----	-------

事業名	山口水源地新設事業
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.1	0	18,000			18,000		

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）

対象（誰、何を対象にしているのか）

意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

（山口浄水施設設置工事）・・・膜処理浄水設備（ユニット）設置、配管設備・建屋及び電気設備

水質を改善するため山口配水池に浄水施設を設置する。

現在の水源施設は、湧水を利用しており降雨時に濁りが発生している。住民の安全安心のために良好な衛生を確保する必要から工事を実施するものである。

歳出積算根拠（金額）

（山口浄水施設設置工事）

膜処理浄水ユニット 15,500千円

滅菌室（建屋） 1,500千円

配管設備 1,000千円

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など

簡易水道整備事業債 18,000千円×100%=18,000千円

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	上井羽合線沿道土地区画整理事業
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
	622,244	399,139	136,800		206,300	56,039	

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
<p>本地区は、JR倉吉駅の北側に位置している。住宅地域は狭小・未整備な細街路が多く、狭小住宅の密集、用途の混在等、適正な土地利用計画がなされていない。さらに雨水幹線が横断し地区を分断しているため一体的な土地利用ができない状況にある。</p> <p>このため区画整理事業の面的な基盤整備により都市計画道路等公共施設の整備改善及び適正な土地利用計画のもと良質な市街地を創出するとともに、中部圏域の玄関口にふさわしいまちづくりを実現する。</p> <p>○施行面積 4.96ha</p>	
歳出積算根拠（金額）	
事業費	
委託料	5,466千円
（移転補償費積算業務、街区測設測量業務）	
道路築造工事	42,460千円
宅地造成工事	66,860千円
北口駅前広場造成工事	27,700千円
駅前広場・市道用地	3,444千円
物件移転補償費	200,212千円
事務費	8,846千円
計	354,988千円
公債費	
公債費（元金）	11,016千円
公債費（利子）	33,135千円
計	44,151千円
歳入積算根拠（特定財源）	
補助対象経費、補助率など	
まちづくり交付金（国庫）	
補助対象額342,000千円×0.4=136,800千円	
合併特例事業債	
起債対象額217,238千円×95%≒206,300千円	

担当課	下水道課
-----	------

事業名	流域下水道維持管理負担金
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
1. 1. 1	446, 350	451, 266				451, 266	

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
【概要】流域下水道事業における天神浄化センター（汚水処理施設）の運営費用で、受益者負担として、排除汚水量1立方メートル当り95円を負担するものである。 【対象】流域下水道事業関連公共下水道（倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町）から排除する汚水処理を行う。 【意図】環境負荷の低減を図るため、下水道処理区域内において、公共水域の水質保全及び生活環境改善を目的としている。
歳出積算根拠（金額） 公共下水道（倉吉）：4,410,761m ³ ×95円/m ³ =419,022,295円 特環公共下水道（関金）：339,393m ³ ×95円/m ³ =32,242,335円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
下水道使用料

担当課	下水道課
-----	------

事業名	電算システム改修委託料・量水器設置等委託料・検針委託料
-----	-----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	18年度	19年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
1.1.1	0	22,547				22,547	

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>【概要】 集落排水事業の料金体系が、人員制から従量制へ移行することに伴うものである。このため、現在の世帯人口を基にする料金積算システムを、水道使用量による積算システムに改修する必要がある。また、従量制への移行に伴い、集落排水区域内の量水器が未設置の水道施設において、新たに量水器を設置し、当該量水器の検針をする箇所が発生することによる。なお、これらの業務は委託により執行するものである。</p> <p>【対象】 集落排水施設利用者</p> <p>【意図】 料金の合理性及び一層の公平性を求め、料金体系を変更したことに伴う措置である。また、平成19年度中に集落排水と水道の納付書一元化を予定している。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>①電算システム改修委託料：12,800千円（料金改定及び納付書一元化） ②量水器設置等委託料：6,533千円（内径13mm量水器設置108箇所、内径20mm量水器設置72箇所） ③検針委託料：3,214千円（水道局11,400件/年、簡易水道課8,160件/年）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>一般会計繰入金</p>

一般会計 一般財源額見込

(金額:千円)

款	項	内訳	H19予算	H18予算	H19-H18	
1市	市民税	個人均等割	70,000	68,000	2,000	
		個人所得割	1,879,000	1,403,900	475,100	
		法人均等割	177,900	177,900	0	
		法人税割	490,000	495,000	△ 5,000	
	固定資産税	土地	1,036,800	1,019,700	17,100	
		家屋	1,442,800	1,411,600	31,200	
		償却資産	515,300	524,600	△ 9,300	
		交付金	22,928	24,576	△ 1,648	
		納付金	3,801	3,796	5	
		軽自動車税	120,500	119,600	900	
	たばこ税	347,000	361,100	△ 14,100		
	特別土地保有税	0	0	0		
	入湯税	2,600	3,200	△ 600		
都市計画税	245,300	243,700	1,600			
	滞納繰越分	81,701	83,301	△ 1,600		
2地方譲与税	所得譲与税	0	370,685	△ 370,685		
	自動車重量譲与税	202,130	208,693	△ 6,563		
	地方道路譲与税	72,464	73,536	△ 1,072		
3	利子割交付金	27,964	21,281	6,683		
4	配当割交付金	15,919	9,862	6,057		
5	株式等譲渡所得割交付金	16,458	17,739	△ 1,281		
6	地方消費税交付金	571,856	606,768	△ 34,912		
7	ゴルフ場利用税交付金	3,932	3,590	342		
8	自動車取得税交付金	113,948	115,919	△ 1,971		
9	地方特例交付金	57,002	140,110	△ 83,108		
10	地方交付税	普通交付税	6,650,000	6,517,000	133,000	
		特別交付税	791,000	833,000	△ 42,000	
11	交通安全対策特別交付金	9,600	9,600	0		
12	分担金及び負担金			0		
13	使用料及び手数料	12,264	10,970	1,294		
14	国庫支出金	国庫補助金	地方道路整備臨時交付金	33,000	101,700	△ 68,700
15	県支出金	県民税徴収事務負担金	43,761	20,970	22,791	
		事務移譲交付金	2,615	2,530	85	
		市町村交付金	26,591	29,931	△ 3,340	
16	財産収入	財産運用収入	土地建物貸付収入	7,244	7,706	△ 462
			利子及び配当金	425	471	△ 46
		財産売払収入	土地売払収入	9,586	24,854	△ 15,268
18	繰入金	基金繰入金	財政調整基金	337,188	627	336,561
		他会計繰入金	老人保健	4	4	0
19	繰越金		50,000	50,000	0	
20	諸収入	延滞金及び過料	延滞金	10,000	10,000	0
		預金利子	預金利子		78	△ 78
		貸付金元利収入	貸付金元利収入	270	2,877	△ 2,607
		雑収入	雑収入	12,122	12,597	△ 475
21	市債	減税補てん債	0	54,200	△ 54,200	
		臨時財政対策債	521,800	593,400	△ 71,600	
	計		16,034,773	15,790,671	244,102	

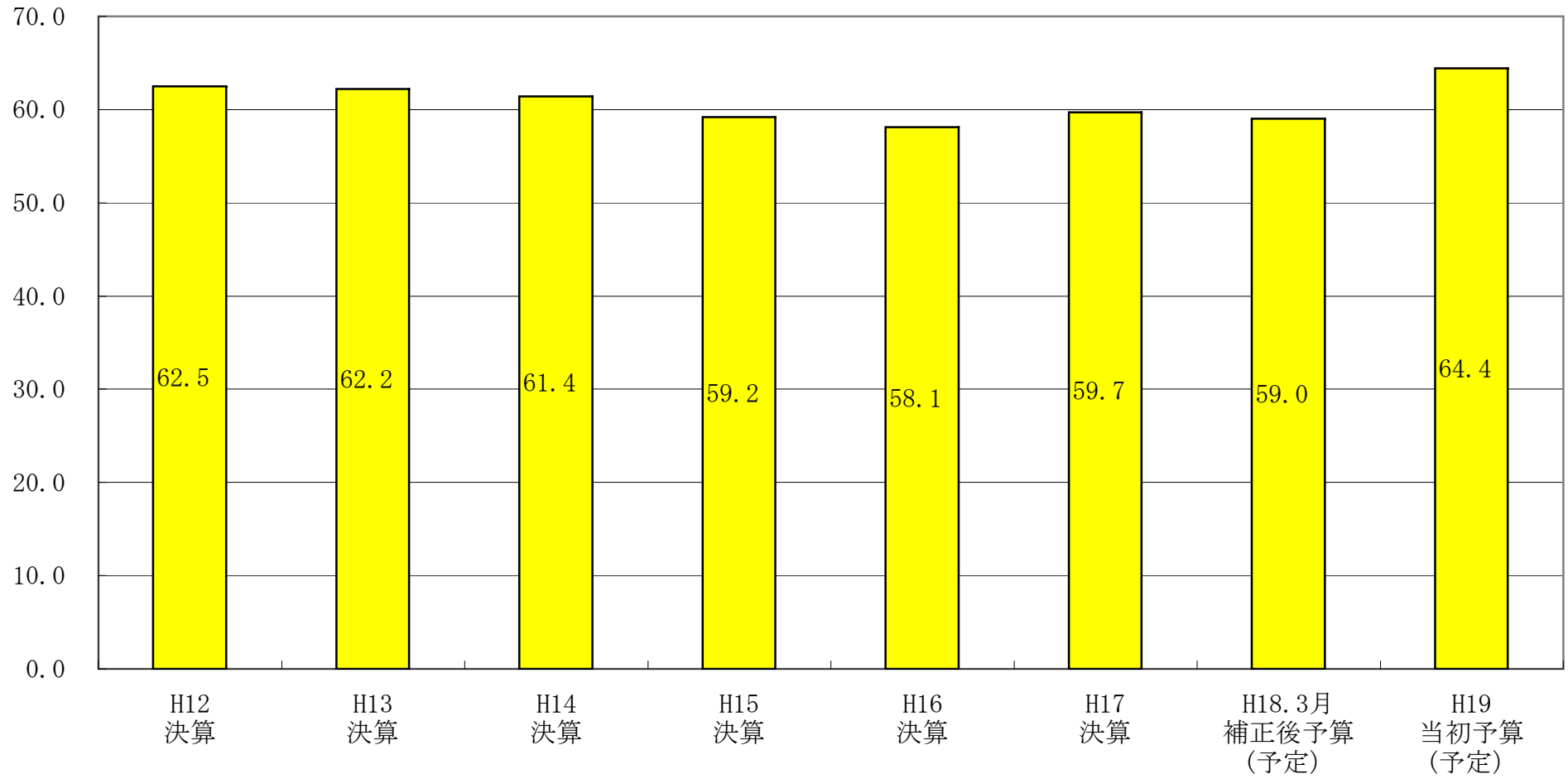
基金の内訳

(単位：千円)

区 分	18年度末	19年度	19年度	19年度末
	見込額 A	積立見込額 B	取崩見込額 C	見込額 A+B-C
文 化 基 金	4,738	511		5,249
博 物 館 資 料 整 備 基 金	5,785	1,502	1,500	5,787
緑を守り育てる基金	16,591	105	1,150	15,546
職 員 退 職 手 当 基 金	931,201	3,145	217,472	716,874
公 共 施 設 等 建 設 基 金	65,858	290		66,148
教 育 振 興 基 金	150,347	527	160	150,714
ふるさと農村活性化基金	17,675	8		17,683
集 落 排 水 事 業 推 進 基 金	613,278	8,101	38,802	582,577
若者の定住化促進基金	1,371,293	4,799	6,039	1,370,053
財 政 調 整 基 金	529,361	1,988	337,188	194,161
減 債 基 金	501,519	6,512	356,061	151,970
計	4,207,646	27,488	958,372	3,276,762

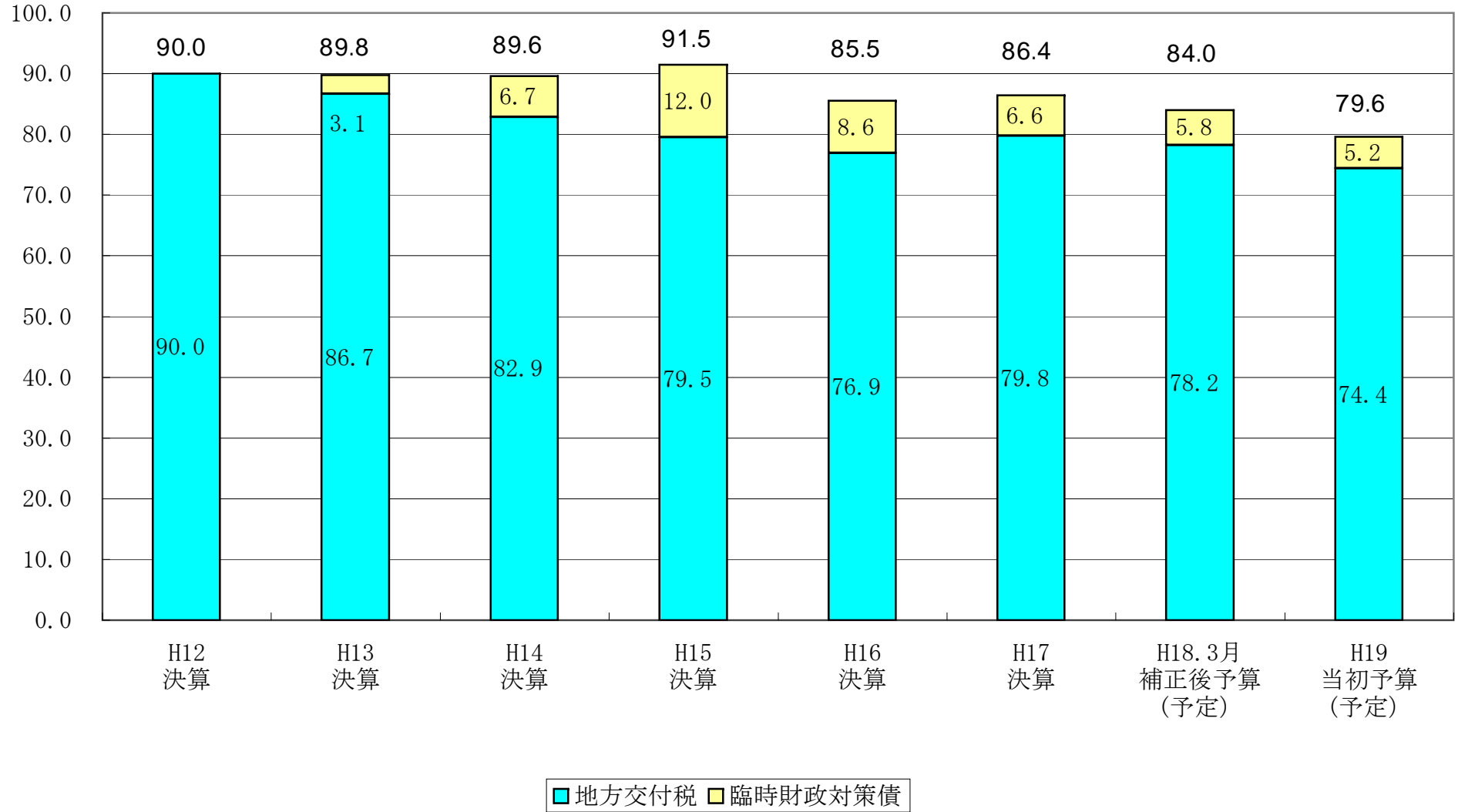
市税の推移

(億円)



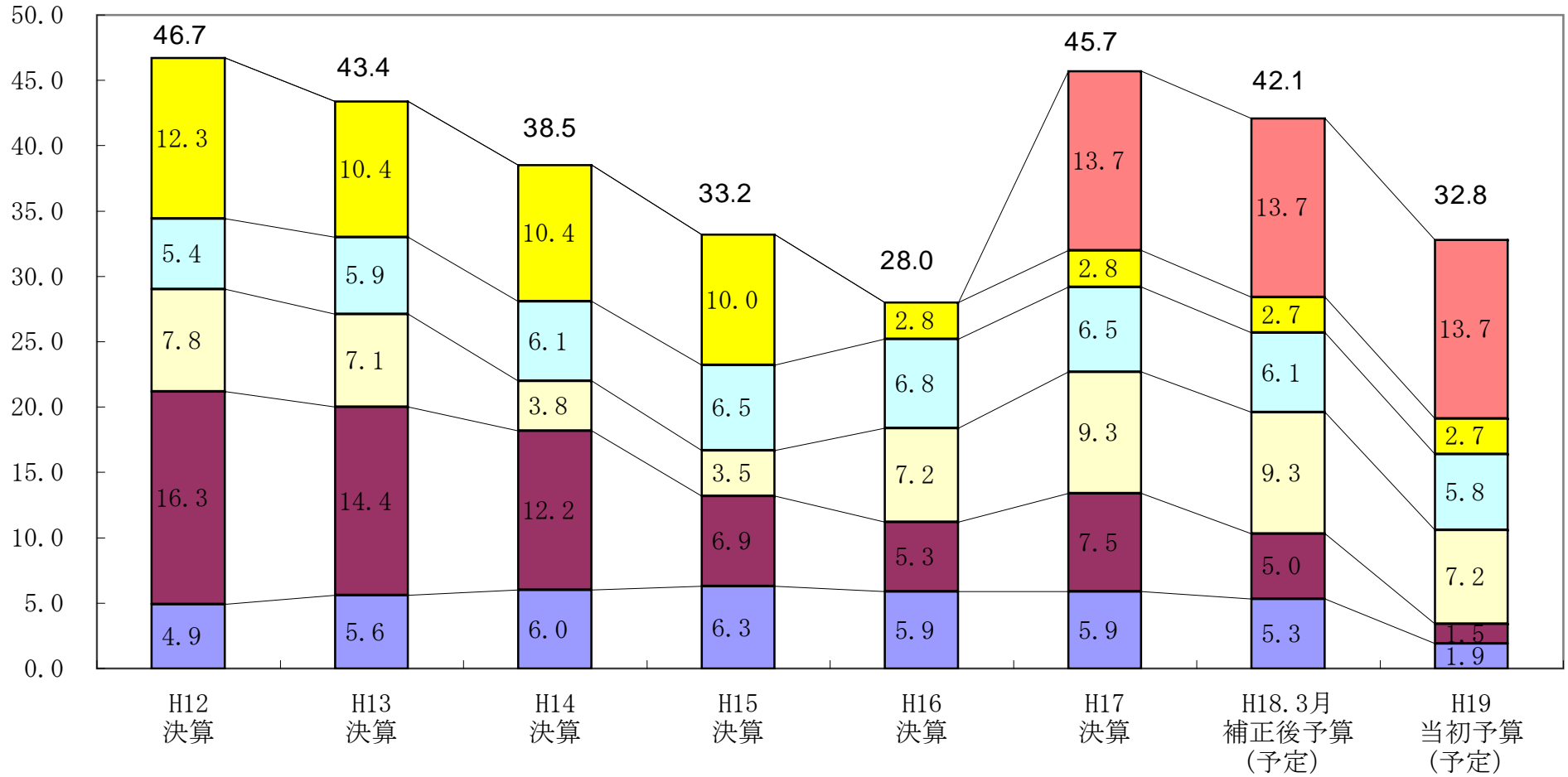
地方交付税等の推移

(億円)



基金残高の推移

(億円)



■ 財政調整基金
 ■ 減債基金
 ■ 職員退職手当基金
 ■ 集落排水事業推進基金
 ■ その他の特定目的基金
 ■ 若者の定住化促進基金

地方債残高の推移

(億円)

